

季刊せいてん no.129

浄土真宗聖典の学習誌

特集 『歎異抄』と私

たんにしょう



真宗〈悪人伝〉／善信房親鸞(三) 幸せってなんだろう／〈生きがい〉から考える善悪
『唯信鈔文意』／さとの性質一二種法身 「正信偈」／法然聖人⑤ ほとけのいる景色／日本人の見たアジャンター①

No.129

季刊

せいてん

2019.12.1 (冬の号)

特集

「『歎異抄』と私」

- 「『歎異抄』—導きの書・励ましの書—」…………… 今井雅晴 3
「大学一回生の時〈宗教あなどりがたし〉と思った」…………… 釈徹宗 5
「〈わからない〉と悩む人にとびっきり優しい人」…………… 中島岳志 6
「老少・善悪のひとをえらばれず」ほか…………… 天岸浄圓ほか 45

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝^⑮

- 善信房親鸞(三)…………… 井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学^⑫

- 〈生きがい〉から考える善悪…………… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』^⑧ さとりの性質—二種法身…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上講演

- 「正信偈」(終) 法然聖人(5) 深く信ずる心…………… 梯 實圓 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院^④

- 「日本人の見たアジャンター^①」…………… 打本和音 40

せいてん茶道教室 ~~新連載~~

- 「茶道の楽しみ」…………… 清基秀紀 54

法語随想 (終)

- 「当来の世に経道滅尽せんに……」…………… 舟川智也 56

読者のページ せいてん質問箱^②

- 「インドに阿弥陀仏の仏像は、あるの?」…………… 壬生泰紀 58

人ひとみな ナモアマダブツ in カリフォルニア(終)

- 「お寺に参る人の関心事」…………… 桑原浄信 63

念仏者はいま みやざきホスピタル副院長・宮崎幸枝さん

- ようこそ、浄土真宗に出遇えてよかったね…………… 64

西の空 心に響くことば

- 不捨…………… 榎本栄一 67

文中写真／編集室

お読みななる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

— 悪人正機の倫理学 —

第12回 「く生きがい」から考える善悪

総合研究所副所長 藤丸 智雄 ふじまる とも お



日本語には、「生きがい」という外国語に翻訳しにくい言葉があります。「生きがい」は、定義しづらい曖昧な言葉ですが、ヴィクトール・E・フランクルさん、神谷美恵子さん、茂木健一郎さんの「生きがい」のご著書を手掛かりに、「善と「生きがい」との関係について考えてみたいと思います。

(イラスト 編集室)



美味しいものを食べる（生きがい）

二十代に重い病気にかかって、一カ月半ほど何も食べられないことがありました。点滴だけの日々。瞬く間に十キロ以上の体重減。なかなか辛い日々でしたが、そんな日々の楽しみが「金子信雄の楽しい夕食」。金子信雄さんは『仁義なき戦い』で色々が悪たくみをし、菅原文太さん演じる広能を困らせる、お金に汚い山守組組長役を演じた名優さんです。その金子さんが料理上手で、晩年まで料理番組をされていました。たしか東ちずるさんがアシスタントでしたね。その番組を毎日見ては、大学ノートにレシピを書き写し、「よし、退院したら、これを作って食べるぞ」と日々決意を新たにしていた

のです。美味しいものが再び食べられることを夢見て、高熱と闘っていたのです。

そんな入院生活のある日、ふと思ったのです。「いつか病気が治ったらご飯が食べられる。もう食べられないとなると辛いだろうなあ」と。それが「生きがい」について考え始めた最初だろうと思います。

KISSは（生きがい）を歌うのか

生きがいの「がい」は、漢字で「甲斐」となっていますが当て字のようです。「甲斐」の意味は、行ったこととにふさわしい効果・価値が有るということで、行為などから満足感が得られることを意味する「やりがい」「働きがい」といった言葉が生まれました。

さて、〈生きがい〉をグーグル翻訳するとReason to liveと出てきますが、〈生きがい〉と〈生きる意味〉はニュアンスが違いますよね。

ハードロックバンドKISSは、「Reason to Live」という曲を歌っています。「誰にでも、生きる意味があるのさ、ベイビー。誰にでも、夢や欲があるのさ」という感じの歌詞になっていて、「生きる意味」は、夢や欲望と並んで出てきます。生きることを力強く鼓舞する力が「生きる意味」なのです。一方で〈生きがい〉には、ささやかな・小さなというニュアンスが有りますよね。やっぱり、KISSには〈生きる意味〉がしつくりきます。〈生きがい〉は、やはり美空ひばりさんでしょうか……（個人的な見解です）。



〈生きがい〉とは、何なのか

本稿を書くために、次の三冊を参照しました。

・ヴィクトール・E・フランクル『生きがい喪失の悩み』（講談社）

・神谷美恵子『生きがいについて』（みすず書房）

・茂木健一郎『IKIGAI 日本人だけの長く幸せな人生を送る秘訣』（新潮社）

神谷さんは、〈生きがい〉の特徴を六つ挙げています。

一、「生きるよろこび」「生きるはりあい」の源泉になる

二、生活をいとなんで行く上の実利実益とは必ずしも関係がない

三、「やりたいからやる」という自発性を持っている

四、まったく個性的なものである

五、それを持つ人の心にひとつの価値体系をつくる

六、そのなかでのびのびと生きていけるような独自の心の世界をつくる

「お金にもならないし、他の人から見ればどうでも良いようなことであつたりするけれど、誰に指図されるまでもなく、やりたいからやっていて、それをやっている時が至福の時間で、満足感が有って、自分が回復できて、大切なものが何であるかを教えてくれる」という感じでしょうか。

〈生きがい〉に固有な意味

茂木健一郎さんは、次の五つの短いフレーズで〈生きがい〉の特徴をまとめています（〈生きがい〉の五

本柱）。

柱1：小さく始めること

Starting small

柱2：自分からの解放

Releasing yourself

柱3：調和と持続可能性

Harmony and sustainability

柱4：小さな喜び

The joy of little things

柱5：〈今ここ〉に在ること

Being in the here and now

それぞれに英語が付いています。が、この本は元々英語で書かれ、その後、日本語に翻訳されたものだからです。

茂木さんと神谷さんの説明には違いがあります。神谷さんには、日本に特有な〈生きがい〉という価値を示そうという意図がありません。そのため、〈生きる意味〉と重なり合

季刊せいいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

126号(春の号) 2019年3月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)
「金子大榮(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑨(藤丸智雄)
「十方の慈悲と隣人愛」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑤(安藤光慈)
「如来のはたらき」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「法然聖人(2) 四十三歳の回心」
- ほとけのいる景色(新)
「ようこそジャンター石壇へ」(打本和音)



表紙
●特集「信心がわからない」より

◆「季刊せいいてん」バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝①(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)
「他力信心の法義」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「善導大師(4) 阿弥陀仏に遇う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号) 2018年3月1日

127号(夏の号) 2019年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「(いつの間にか)の倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)
「誰もえらび捨てない救い」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」③(梯實圓)
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほとけのいる景色②
「千年の閨室」(打本和音)



表紙
●特集「いつかある 平成の鎌倉新説-新発見!」より



表紙
●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)
「弁井」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)
「名号の摂化」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏の号) 2018年6月1日

●これまでの主な特集記事●

- No. 100……100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編纂事業と『季刊せいいてん』
徳永一 内藤知康・佐々木恵精
- No. 101……ヴィジュアル大乗仏教～北伝仏教の旅～
- No. 102……飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構が否か
- No. 121……自死と念仏者
- No. 122……わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No. 123……お盆、その前に

*「季刊せいいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎ 0120-464-583
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊 700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。



表紙
●特集「(名人)たちの聖典」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)
「金子大榮(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)
「(自)であらわされる他力」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」③(梯實圓)
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦
「一切経校合」(黒田義道)

124号(秋の号) 2018年9月1日



表紙
●特集「(空)がわからない」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑨(井上見淳)
「金子大榮(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)
「(今)の救い」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」④(梯實圓)
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

125号(冬の号) 2018年12月1日

季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

お申し込みは↓

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆前号の特集「二河白道のたとえ」のイラストを使ったスライドショーを、先ごろ総合研究所HPで公開しました。「総合研究所」の堅いイメージとゆるいアニメーションとのギャップに驚いた方が多かったようですが、お聖教にしっかり基づきつつ楽しく学ぶという、あれが本誌の平常運転なんですと、声を大にして言いたい気分でした。今号もたくさんの先生方にご協力いただき、今までにない視点の『歎異抄』特集になりました。幅広い方々にお読みいただければと思っています。(N)

◆今回の「念仏者はいま」でお話をうかがった宮崎幸枝さんは、「西本願寺医師の会」の発起人をされています。7月に築地本願寺で行われた会で、「医療の手の届かないところ—医療現場でも〈お浄土を語り合おう〉」と題

して講演をされました。どんなに医療を駆使しても手の届かない領域、それは今回の記事で言われた「生死の問題」です。宮崎さんは、ご自身の体験を踏まえ、医師自身が宗教的救いを解決し、医療の現場で、医学的救いと同時に、宗教的救いを伝えることが必要ではないか、と問いかけられました。(S)

◆全28回、足かけ7年におよぶ梯實圓和上の誌上講演が完結しました。

梯和上は連載第1回(102号)で「〈正信偈〉がわかれば真宗がわかる」と仰っておられました。この度和上の「正信偈」の講演録が完成したことは、浄土真宗を学ぶ私たちにとって大変意味深いことであると思います。連載にあたりご協力くださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。(D)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。
◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。
◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.129 令和元(2019)年12月1日発行

編集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺前町60番地

電話 075-371-4171